Aさんの感情に変化に対する配慮

24 時間生活変化シートからの分析

小規模多機能ホームあん 矢倉
発表者 / 日高優希

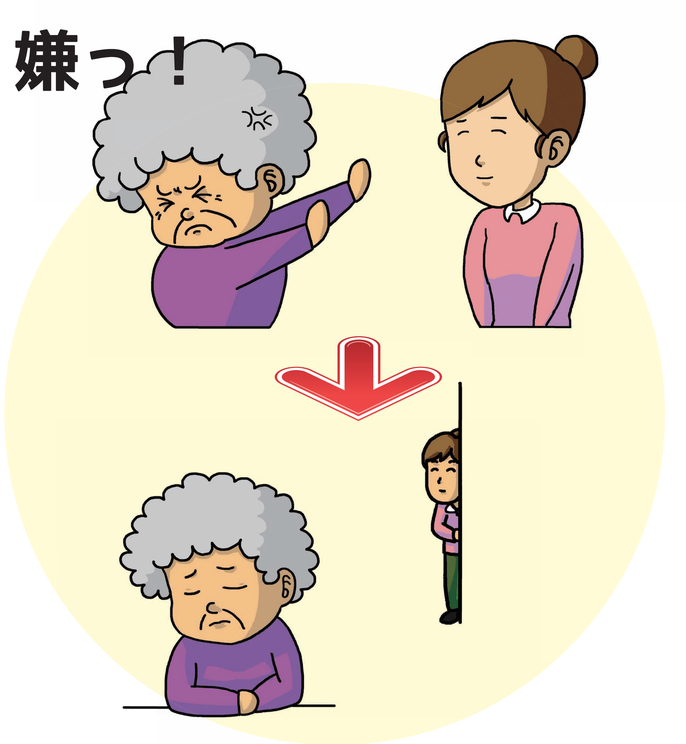
あんの理念

**誰もが人生において最後まで主人公である。
自分らしい暮らしを継続でき、安心して高齢期を
迎えられる理想の地域社会を実現する。**

出来るだけ静かな環境で
過ごせるように配慮する

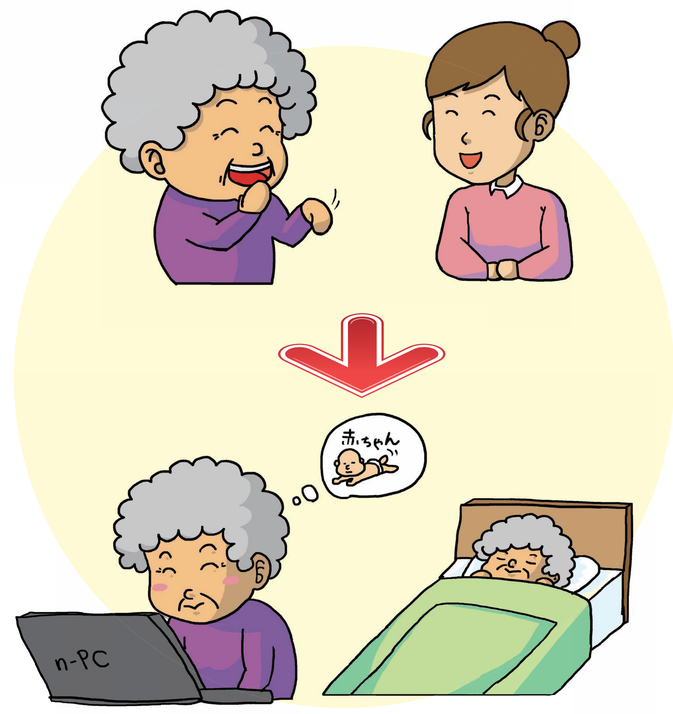
寄り添うとは、横にいることではなく気持ちに沿うことである

午前中は声を荒げることが多い



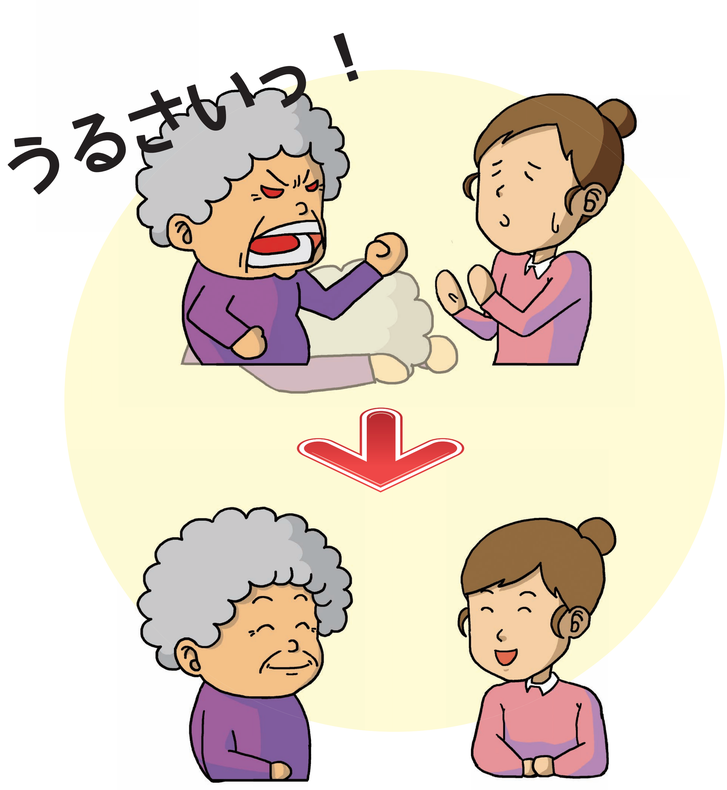
本人の今の心の事実に追う努力をする

午後には比較的落ち着いて過ごす

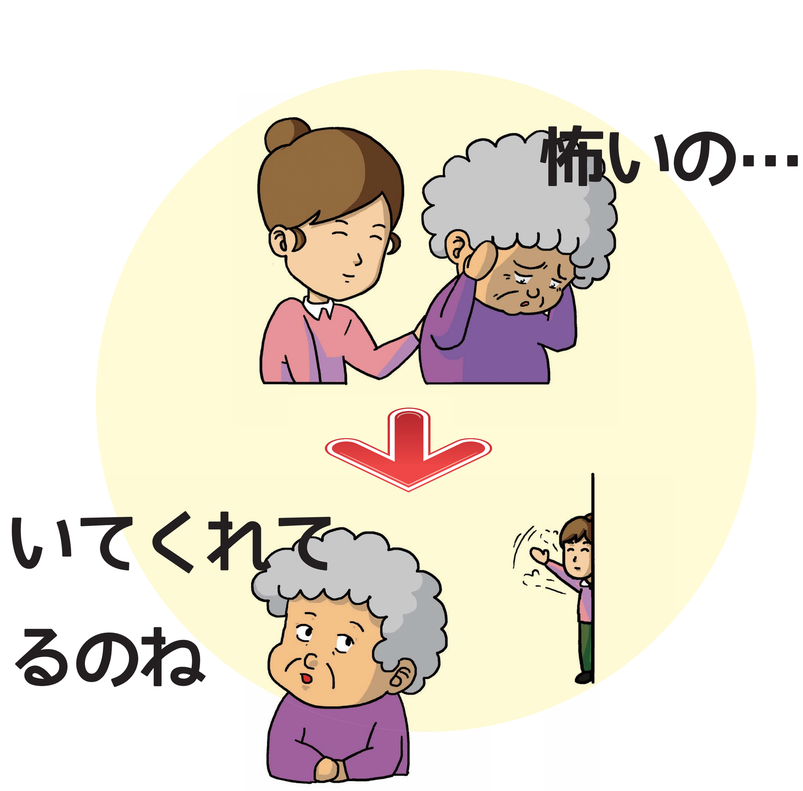


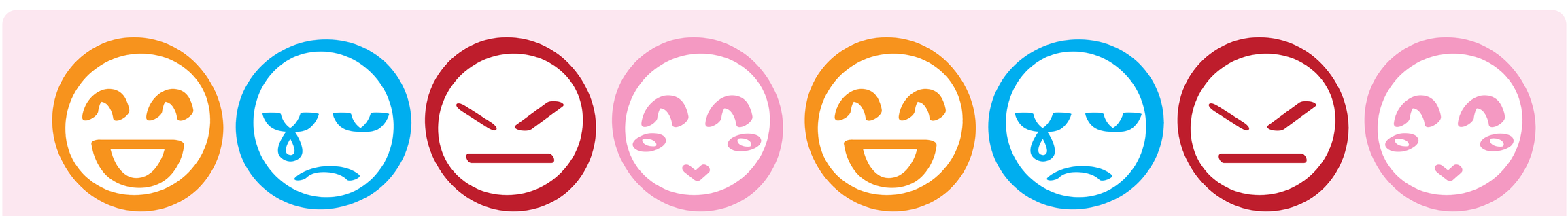
喜び楽しみの前に”不安”” 不快”を取り除く

18時から19時になると
再び声を荒げる



19時を過ぎると「怖い」といった
不安感を示す言葉を発する



身体的な側面

喜び怒り悲しみ様々な感情があっての生活である